



# BLUEY 500 Owner's Manual

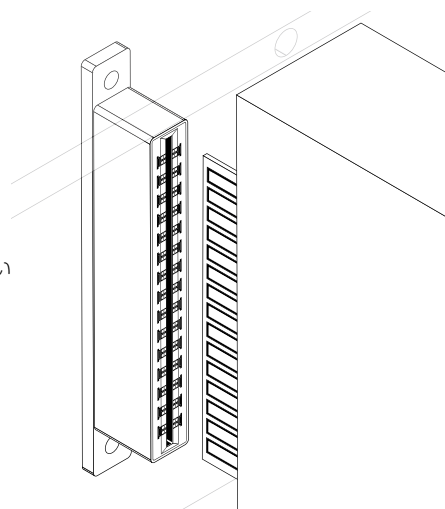
この度は Black Lion Audio BLUEY 500 をご購入いただきありがとうございました。BLUEY 500 は、グラミー受賞エンジニア、クリス・ロード・アルジ氏が所有する 4 台の 1176 Blue Stripe コンプレッサーの中で、独特の魅力を放つ BLUEY と名付けられた特別なユニットを製品化した Black Lion Audio Bluey の 500 互換モジュールです。様々なテクニシャン達によるモディフィケーションが施された奇跡的なユニットであり、数々のヒット作品で耳にするコンプレッサー・サウンドを 500 シリーズでも手に入れられるのです。

クリス・ロード・アルジ氏がオリジナルの Bluey で享受してきたディテールを忠実に再現するべく、Black Lion Audio では Cinemag カスタム・トランスを使用するだけでなく、クリス・ロード・アルジ氏が所有するコンソールのインサート・パスを再現して Bluey に組み込み、誰もがこのコンソールのフィールまでも得られるようにしています。

さらに、Black Lion Audio では現代的なパラレル・コンプレッションを簡単に行えるアクティブなウェット / ドライ・ミックス、ステレオリンクも追加実装しています。Bluey 500 は、ビンテージにインスピレーションを受けた PCB レイアウト、許容差 1% のレジスター、フィルム・コンデンサーを使用し、デザインされており、Bluey 500 を耐久性に優れたものにしています。また、他の Black Lion Audio 製品同様にシカゴで検品、キャリブレーション、品質管理を実施しています。

## <取付方法>

1. スタジオモニターをミュートします。
2. 500 シリーズ・シャーシの電源をオフにします。
3. Bluey 500 のカードエッジコネクタ及び周囲に異常が無いことを確認します。
4. Bluey 500 を 500 シリーズ・シャーシの空きスロットに注意深くスライドさせます。
5. モジュールのカードエッジ・コネクタが右図の EDAC コネクタに正しく挿入されていることを確認します。
6. Bluey 500 を、前面に取り付けられた 4 本のネジでシャーシに固定します。



## <初期設定>

バランス XLR ケーブルを使用して、500 シリーズ・シャーシから Bluey 500 の入出力をミキシングバスやパッチベイに接続します。Bluey 500 を 2 台並列（またはステレオ）で使用する場合、RCA ケーブルを使用して前面にマウントされている RCA 端子間で接続します。すべてのコントロールを完全左の位置に設定し、すべてのプッシュボタンの選択を解除またはオフの位置に設定します。[Bypass] ボタンをオン位置に設定してから電源を入れます。モニターのミュートを解除し、信号がユニットを通過していることを確認します。[INPUT]、[OUTPUT]、[ATTACK]、[RELEASE] の各コントロールを 12 時の位置に設定し、[COMP MIX] を完全右に、[RATIO] を 4 にそれぞれ設定してから、[Bypass] ボタンを解除します。メーターに数 dB 反応が出るまで [INPUT] を上げます。もう一度、信号がユニットを通過していることを確認します。これで完了です。

## [Attack] コントロールについての注意：

Bluey 500 の [Attack] コントロールは、他の 76 年スタイルのコンプレッサーとは少し違った動作をします。[Attack] ノブを左（反時計回り）に回すとアタック時間が早くなり、右（時計回り）に回すと遅くなります。この方が、ボリューム・ノブを左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がるような感覚で、より直感的に操作できると考えています。

- ・アタック：連続可変 20uS ～ 800uS
- ・リリース：連続可変 1200mS ～ 50mS

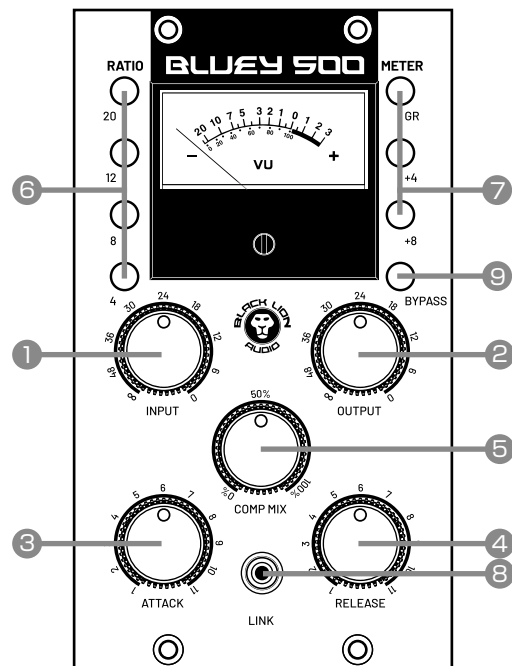
## ステレオリンクについての注意：

ステレオリンク経由で Bluey 500 のペアを動作する場合、まず両ユニットの設定をマッチさせます。リンクされているのは内部のディテクター回路であり、（フロントパネルの）コントロールではないためです。1976 年スタイルのコンプレッサーの設計上の制約から、外付けのバッテリー駆動式バランスボックスなしで 2 つのユニットが 100% マッチすることはありません。バランスボックスがない場合、完璧なステレオマッチングを実現するために入出力コントロールに若干の調整が必要かもしれません。

フロントパネル：

1. 入力：スレッシュホールドを設定し、コンプレッサーが動作を開始するレベルをコントロールします。
2. 出力：メイクアップゲインをコンプレッション済み信号に適用してコンプレッションの信号ロスを補正します。
3. アタック：ユニットが入力信号に反応するのにかかる時間をコントロールします。
4. リリース：コンプレッサーがコンプレッション済み信号をリリースするスピードをコントロールします。
5. コンプミックス：ユーザーがコンプレッションのかかっていないドライ信号をコンプレッション済みのウェット信号と組み合わせてより自然なサウンドのコンプレッションを実現します。
6. レシオ：適用されるコンプレッションの量をコントロール（全押しモード可能）します。
7. メーターモード：セレクトで（GR メーターでゲインリダクションの量、+4dB 出力で 0 時の出力レベルを表示、+8dB 出力で 0 時の出力レベルを表示）を切り替えます。
8. RCA ステレオリンク：ステレオリンクに標準 RCA ケーブルを使用します。
9. バイパス：コンプレッション回路をバイパスします。

注:適切な性能を得るには、すべての入出力にバランス XLR を使用する必要があります。



#### <技術仕様>

|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| アタック | 連続可変 20uS ~ 800uS                               |
| リリース | 連続可変 50mS ~ 1200mS                              |
| レシオ  | プッシュボタン：4:1、8:1、12:1、20:1 および任意の組み合わせ（全押しモード対応） |
| 電源電圧 | ± 16v                                           |
| サイズ  | 幅：76mm<br>高さ：178mm<br>奥行き：229mm                 |
| 質量   | 1.47kg                                          |